

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugiin.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2006年12月20日 No.121

政策で活躍の一年、来年は選挙の年

今年も残すところわずかです。この1年を振り返ってみましょう。

予算委員会筆頭理事として活躍

細川律夫代議士は、昨年の総選挙後、再び予算委員会の筆頭理事として予算委の運営に携わりながら、犯罪の問題やタクシーの件で質問に立ちました。

予算委員会では、前半こそ民主党の攻勢が目立ちましたが、途中からいわゆる「メール問題」でつまずき、多くの皆様から強い批判が寄せられました。その舞台となった予算委員会の理事として細川代議士もつらい思いをしました。



予算委員会で細川議員の質問に答える小泉首相

法務委では共謀罪など

細川代議士は弁護士としての経験が買われ、法務委員会にも所属し、多くの法案審議に参加しました。

特に話題になったのが、事前の話し合いだけで罪になる「共謀罪」法案で、刑法の常識を覆すばかりか、過度の権力の介入にも結びつくということで、国民的批判が起きました。細川代議士は、民主党を代表して与野党協議にも加わり、結局は衆議院での強行採決を阻止しました。

さらに、秋の臨時国会からは全体の異動により所属が替わり、法務委員会委員、厚生労働委員会委員と倫理選挙特別委員会筆頭理事の任について、各委員会で忙しく活動してきました。



「共謀罪」の審議で法務大臣を追及する細川議員

議員立法は2法案

臨時国会では2本の法案の筆頭提出者となりました。一つは「飲酒・ひき逃げ抑止法案」。8月に福岡で幼児3名が亡くなった事件をきっかけに、飲酒運転を厳罰化せよ、という世論が巻き起こりました。これを受け、超党派の交通事故議連や民主党内で議論を重ね、酒気帯び運転業務上過失致

死罪の新設（10年以下の懲役）ひき逃げの厳罰化（現行最高5年の懲役を10年に引き上げ）などを内容とした法案を提出しました。

また、以前にも提出した「交通基本法案」も、内容にさらに手を加え、改めて提出しました。「移動する権利」を明記したことが特色の法案です。

ブラジル、中国を訪問



議員外交としては、予算委員会の視察でブラジルを、党内の有志議員の会などで中国を3度訪問しました。

ブラジルではエタノール車の普及など、新しい施策に結び

つく視察を行いました。中国では、日中の政治的関係の改善や経済・人的交流の促進について話し合いました。

草加市議選で1名議席増

草加市の市議会議員選挙（定数30名）が、11月5日に行われ、民主党は、現職の新井貞夫さん、新人の須藤哲也さん、関一幸さんの3名の公認候補が当選を果たしました。一方、7期28年市議を務めた種子島久代さんが引退し、新人にバトンを渡しました。結果は以下のとおりです。民主党に対する皆様のご支援を感謝申し上げます。

草加市議会議員選挙結果

投票率 43.24% 有効投票数 79,969 票

立候補者数 35 名 定数 30 名

当選 須藤哲也 民新 3,633 票

当選 新井貞夫 民現 2,715 票

当選 関一幸 民新 2,217 票

政党別当選者数

民主 3 公明 7 共産 4 無所属 16

来年は統一選と参院選

来年の4月には統一地方選挙が行われ、県議選では越谷の高橋努さん、草加の山川百合子さんが改選になります。4月後半には越谷市議選も行われます。

7月には参議院選挙。埼玉選挙区では山根隆治さんが再選に向けて立候補を予定していますが、さらに民主党は1名の擁立を検討中です。

8月には埼玉県知事選が予定されています。こちらは上田清司知事が2期目を目指します。

賀詞交歓会にご参加を

恒例の細川律夫新春賀詞交歓会は、下記のとおり行う予定です。一部の方には郵送などでもご案内いたしますが、細川律夫の政治活動を支援してくださる方ならだれでも参加できます。いわゆる「政治資金パーティー」ではありませんから会費も実費のみとなっておりますので、お気軽にご参加ください。

細川律夫新春賀詞交歓会

越谷会場

日時 1月6日(土)午後3時

場所 ベルヴィ・ギャザホール

草加会場

日時 1月18日(木)午後6時30分

場所 草加アコスホール

会費

男性 5,000 円 女性 3,000 円

細川律夫より一言

2006年残りわずかとなりました。常会臨時口会を通じて与党の圧倒的多数と実感しました。昨年9月の総選挙は「郵政民営化」のみが争点だったにもかかわらず、されたかのように振舞っています。来年の参院選が勝負です。